

あしや子ども風土記(第九集)

# 写真で見る 芦屋今むかし 2

④

「写真で見る芦屋今むかし」の第二冊目です。昭和三十年代の写真を、可能な限り同じ場所から撮影平成十二年(2000年)して見比べるにより、人々の暮らしがどのように移り変わってきたかを確かめることができます。これからのまちづくりに、何らかのヒントになるでしょうか。

## 国道2号

明治時代以降、道路は新しい交通機関の発達や、交通量の多量化に対応しきれず、根本的な整備が必要になりました。

そこで昭和二年、芦屋市内では人通りの少ない山手寄りに国道2号が造られました。この国道の一部は、昔から続いた旧国道(西国街道)を拡張しました。

昭和三十八年には、車や歩行者の安全を図るため芦屋地域の区間約二・二キロメートルに水銀灯八十一基が設置されました。しかし、交通量の増加とともに、交通事故の件数も多くなりました。宮塚町に建つ交通安全地蔵は、昭和三十三年、国道での安全のために建てられました。



昭和35年(1960)



平成12年(2000)



## 芦有自動車道に通じる道

昭和三十六年開通した芦有道路は表六甲から裏六甲へ、観光資源の開発と産業交通の発達を目的に奥山から有馬まで一〇・七キロメートルを二十分で結ぶ有料道路です。

芦屋からその入口に至る道が奥山 精道線です。この道は、山手町や朝日ヶ丘町とのアクセスにも多く利用されています。また、奥池周辺の開発に伴い、緑

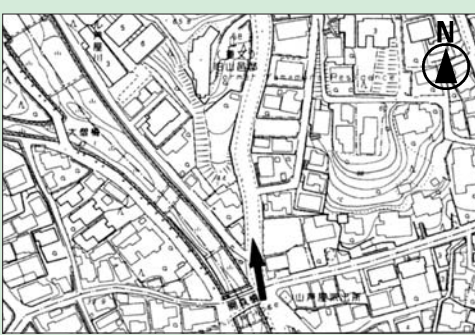
豊かな住宅地を結ぶ道路としてさらに利用されるようになりました。当初は一車線しかなく、歩行者と車が接近した道路でした。



昭和37年(1962)



平成12年(2000)



## 芦屋市霊園の参道

昭和二十八年、霊園は、近代的な明るい公園墓地として、昭和四十五年までに順次整備されていきました。園内に植えられた千五百本の桜は芦屋十景に数えられ、その参道にも多くの桜が植えられ、毎年春には桜のトンネルが開通します。霊園の展望

台から見渡す市街と大阪湾の景観とともに、四季を通じ市民の憩いの場として親しまれています。昭和三十年代には、まだ霊園経由

のバス路線(山手線)は開通していませんでした。そのため、霊園直通バスが一部運行してました。



昭和31年(1956)



平成12年(2000)



●平成十二年に発行した「あしや子ども風土記」を紹介します。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

社会福祉法人 かねでん福祉事業団

広告

### ケアハウス 入居者募集中!!

60歳以上で、身の回りの事は自分で出来る方を募集しております!!

2室空き

入居金ゼロ。

毎月のご生活費：約12万~18万(食事代込み)

### デイサービス 利用者募集中!!

無料体験デイ実施中

まずはご一報をお待ちしております!!

お問い合わせ...

〒659-0025 芦屋市浜町 12番3号 TEL:0797-35-8341

ホームページ <http://care-net.biz/28/ellehome/>

### シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第7集「写真で見る芦屋今むかし1」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。第1集「伝記・物語」は完売しました。